



2020年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月14日

上場会社名 株式会社クリエイトSDホールディングス
 コード番号 3148 URL <http://www.createsdhd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬泰三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎哲也
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 2020年2月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

TEL 045-914-8241

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	153,305	8.9	7,041	5.4	7,219	5.0	4,912	5.3
2019年5月期第2四半期	140,728	7.5	6,680	9.4	6,873	9.5	4,667	9.1

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 4,951百万円 (5.6%) 2019年5月期第2四半期 4,690百万円 (8.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	77.71	
2019年5月期第2四半期	73.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	138,322	80,702	58.3
2019年5月期	133,315	76,889	57.7

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 80,702百万円 2019年5月期 76,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		18.00		18.00	36.00
2020年5月期		19.00			
2020年5月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	307,600	7.4	14,970	5.1	15,300	4.6	10,270	5.7	162.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期2Q	66,819,342 株	2019年5月期	66,819,342 株
期末自己株式数	2020年5月期2Q	3,600,686 株	2019年5月期	3,600,639 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期2Q	63,218,692 株	2019年5月期2Q	63,218,779 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

当社は、2020年1月17日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。説明内容については、当日使用する決算説明資料を、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年6月1日～2019年11月30日)におけるわが国経済は、緩やかな景気回復の動きが見られたものの、米国貿易摩擦や英国EU離脱問題及び日韓対立に対する警戒感、原油価格や為替相場の動向、物流費・人件費の増加、人手不足問題などにより、先行きは依然不透明なまま推移いたしました。

ドラッグストア業界におきましては、競合他社の出店や価格競争の激化に加え、他業種からの参入や企業の統合・再編の動きが増加しつつあり、依然厳しい環境がつづいております。

このような状況の中、当社グループは「セルフメディケーションを力強くサポートし、総合的な地域医療に貢献する」企業を目指して、ドラッグストア事業、有料老人ホーム事業及びデイサービス事業を展開しております。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、小商圏において繰り返しご来店いただけるための利便性の向上及び健康サポート機能を付加することによる専門性の向上に継続して取り組んでまいりました。

売上高につきましては、梅雨明けの遅れによる季節商材の販売不振があったものの、前期からの新規出店による出店数増加や、消費税増税前の駆け込み需要に対する商品や店舗運営における戦略的施策、利便性向上のための自社電子マネー機能付きポイントカード「おさいふHippo」の導入・利用推進施策が奏功し、前期及び計画を上回る結果となりました。

利益面につきましては、春先からの食料品を中心とした原価上昇や季節商材の販売不調などによる売上総利益率の低下要因及び人件費単価の上昇やキャッシュレス推進に伴う経費増加要因がありましたが、上記施策による増収効果により前期及び計画を上回る結果となりました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、15店舗の出店を行いました。一方で経営効率化の観点から1店舗閉鎖いたしました。

調剤薬局につきましては、地域医療に貢献するため、健康サポート機能を有する「かかりつけ薬局」を目指し、薬剤師の育成に注力するとともに既存薬局のボトムアップを図ってまいりました。また、地域の医療連携体制の構築に向けた出店を推進いたしました。それに伴い処方箋応需枚数も順調に増加し、引き続きの増収となりました。

調剤薬局の新規出店につきましては、ドラッグストアへの併設調剤薬局を5店舗開局いたしました。

<有料老人ホーム事業>

有料老人ホーム事業につきましては、ペットと一緒に暮らせるお部屋、美味しい食事や多彩なイベントを特色とする介護付有料老人ホーム2施設を運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、これら当社ならではの特色をホームページや営業活動を通じてアピールし、入居率の向上を図ってまいりました。

<デイサービス事業>

デイサービス事業につきましては、高齢者の方が長くご自宅で暮らすための生活機能訓練を特色とするデイサービスセンターを中心に運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、収益性向上のため、4施設の定員拡大を行いました。

以上により、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数はドラッグストア事業ではドラッグストア613店舗、調剤薬局については調剤専門薬局34店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局179店舗の合計213店舗となり、有料老人ホーム事業では介護付有料老人ホーム2施設、デイサービス事業ではデイサービスセンター39施設となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高153,305百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は7,041百万円(前年同期比5.4%増)、経常利益は7,219百万円(前年同期比5.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,912百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は138,322百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,006百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が1,589百万円、売掛金が439百万円、商品が1,549百万円、固定資産が2,267百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は57,620百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,193百万円増加いたしました。主な要因は、ポイント引当金が210百万円増加し、買掛金が506百万円、未払法人税等が88百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は80,702百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,813百万円増加いたしました。主な要因は、配当金支払により1,137百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益4,912百万円を計上したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は33,173百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,589百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6,760百万円（前年同期比714百万円の収入増）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益7,217百万円、減価償却費1,704百万円、法人税等の還付額641百万円、たな卸資産の増加1,542百万円及び法人税等の支払額3,324百万円等の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4,032百万円（前年同期比1,533百万円の支出減）となりました。これは主に出店に伴う有形固定資産の取得による支出2,508百万円及び出店仮勘定による支出1,146百万円等の結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,138百万円（前年同期比63百万円の支出増）となりました。これは配当金の支払1,137百万円等の結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、現時点では2019年7月8日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,584	21,173
売掛金	7,450	7,890
有価証券	12,000	12,000
商品	28,844	30,393
その他	7,883	7,045
流動資産合計	75,763	78,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,343	18,376
土地	9,378	9,378
建設仮勘定	2,155	82
その他(純額)	4,538	4,535
有形固定資産合計	31,415	32,373
無形固定資産		
のれん	286	257
その他	338	425
無形固定資産合計	625	683
投資その他の資産		
長期貸付金	9,018	9,064
敷金及び保証金	9,741	9,860
その他	6,780	7,869
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	25,510	26,762
固定資産合計	57,551	59,819
資産合計	133,315	138,322
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,589	37,083
未払法人税等	2,640	2,551
賞与引当金	268	260
役員賞与引当金	103	61
店舗閉鎖損失引当金	-	1
ポイント引当金	3,170	3,380
資産除去債務	12	15
その他	6,934	8,302
流動負債合計	50,718	51,656
固定負債		
退職給付に係る負債	2,056	2,202
資産除去債務	2,772	2,852
転貸損失引当金	41	39
その他	837	870
固定負債合計	5,707	5,963
負債合計	56,426	57,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	79,476	83,251
自己株式	△4,393	△4,393
株主資本合計	77,018	80,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	20
退職給付に係る調整累計額	△140	△110
その他の包括利益累計額合計	△128	△90
純資産合計	76,889	80,702
負債純資産合計	133,315	138,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
売上高	140,728	153,305
売上原価	102,066	111,278
売上総利益	38,661	42,027
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	3,060	3,380
給料及び手当	12,413	13,686
賞与引当金繰入額	209	219
役員賞与引当金繰入額	50	61
退職給付費用	207	218
減価償却費	1,593	1,657
地代家賃	6,527	6,999
その他	7,920	8,764
販売費及び一般管理費合計	31,981	34,985
営業利益	6,680	7,041
営業外収益		
受取利息	56	52
受取配当金	1	0
貸倒引当金戻入額	0	-
固定資産受贈益	74	57
受取賃貸料	4	59
その他	57	56
営業外収益合計	195	226
営業外費用		
支払利息	0	0
支払補償費	0	0
賃貸費用	-	46
その他	0	0
営業外費用合計	1	48
経常利益	6,873	7,219
特別利益		
補助金収入	-	4
特別利益合計	-	4
特別損失		
固定資産除却損	0	0
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	1
固定資産圧縮損	-	4
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	6,873	7,217
法人税等	2,205	2,305
四半期純利益	4,667	4,912
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,667	4,912

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	4,667	4,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	8
退職給付に係る調整額	29	29
その他の包括利益合計	23	38
四半期包括利益	4,690	4,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,690	4,951
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,873	7,217
減価償却費	1,611	1,704
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10	△7
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△39	△42
ポイント引当金の増減額(△は減少)	120	210
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	1
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△2	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	176	188
受取利息及び受取配当金	△58	△52
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△584	△439
たな卸資産の増減額(△は増加)	△695	△1,542
仕入債務の増減額(△は減少)	△253	△506
前受金の増減額(△は減少)	0	947
その他	1,396	1,765
小計	8,533	9,441
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△3,183	△3,324
法人税等の還付額	692	641
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,045	6,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,034	△2,508
無形固定資産の取得による支出	△30	△132
長期貸付けによる支出	△562	△361
長期貸付金の回収による収入	446	454
出店仮勘定による支出	△1,372	△1,146
供託金の預入による支出	-	△302
その他	△13	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,566	△4,032
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,074	△1,137
自己株式の取得による支出	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,074	△1,138
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△595	1,589
現金及び現金同等物の期首残高	31,017	31,584
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,422	33,173

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(1) 販売実績

①商品部門別売上実績

当第2四半期連結累計期間における売上実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	36,811	111.3
O T C	22,986	106.4
調剤薬局	13,824	120.8
化粧品	20,780	105.0
食料品	60,947	108.9
日用雑貨品	25,399	109.5
その他	8,289	107.2
小 計	152,227	108.9
有料老人ホーム事業	350	101.2
デイサービス事業	727	110.8
合 計	153,305	108.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②地区別売上実績

当第2四半期連結累計期間における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
神奈川県	85,736	60.9	93,590	61.0
東京都	20,728	14.7	22,337	14.6
静岡県	18,215	12.9	19,369	12.6
千葉県	8,587	6.1	9,950	6.5
その他	7,460	5.3	8,057	5.3
合 計	140,728	100.0	153,305	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	22,086	113.2
OTC	13,733	109.8
調剤薬局	8,353	119.2
化粧品	13,365	105.0
食料品	51,380	110.4
日用雑貨品	18,225	109.9
その他	6,750	105.7
小計	111,808	109.9
有料老人ホーム事業	—	—
デイサービス事業	—	—
合計	111,808	109.9